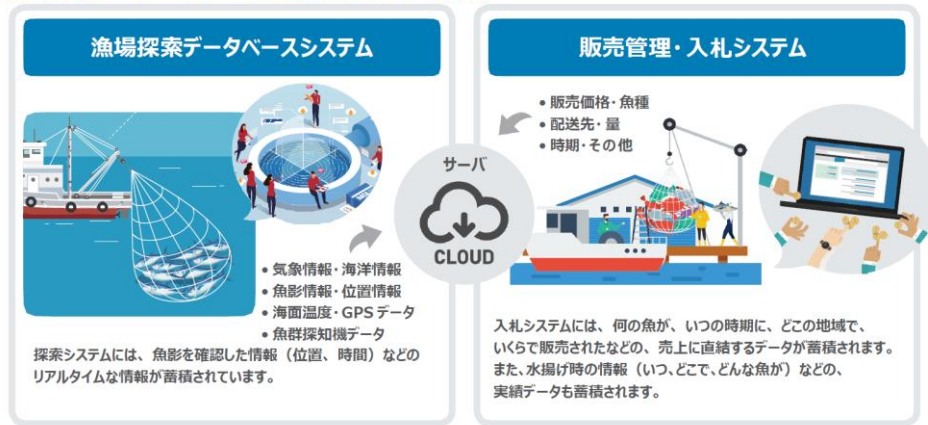


# 【視察地域でのデジタル水産業の取組概要】

## 大阪府泉州地域

販売・入札データ（販売価格、魚種、配送先等）や操業データ（位置、漁獲量、金額等）、漁場環境データ（水温、塩分、海流等）を取得、連携させることにより、一元的な資源管理システムの構築、操業の効率化、労働環境改善、所得向上、CO2 削減に加え海業など新たな展開を図る。

『漁場探索データベースシステム』Smart-G DB system

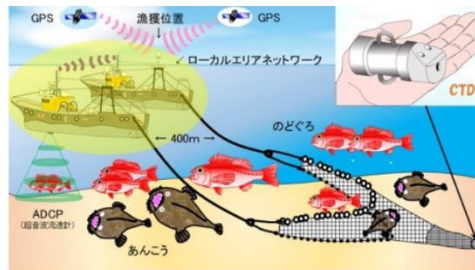


二つのシステムのデータを組み合わせる事で、**漁業イノベーションの可能性が広がります！**

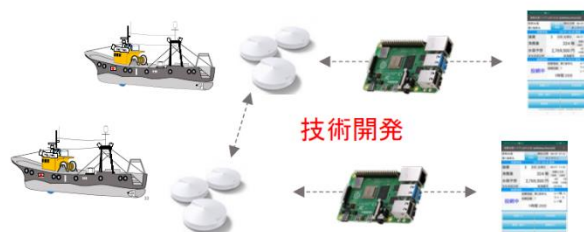
## 山口県下関地域

沖で操業する生産者から消費者までの情報（漁獲情報、市場ニーズ、消費者ニーズ等）をつなぐ水産版デジタル・バリューチェーンシステムを作成し、ニーズに応じた合理的な操業・水揚げ・供給、魚価向上、販路・消費拡大を図る。

「あらゆるデータをデジタル化し、活用する」



（沖合底びき網漁業のデータ収集）



（沖合でローカルネットワークを構築し、データ共有を実現）